



国土交通省では、i-Construction4年目となる令和元年度を「貫徹の年」と位置づけ、「生産性革命」を加速させるため一層の普及推進を図っているところです。

北陸地方整備局においても、3本柱である「ICTの全面的な活用」、「全体最適の導入（コンクリート工の規格の標準化）」、「施工時期の平準化」を推進し、建設現場におけるプロセス全体の最適化を図り、魅力ある建設現場の実現を目指していきます。

**最新ニュース**

**【建設業の働き方改革】建設現場の統一的な現場閉所(第2弾)に取り組みます!!**

2019年ゴールデンウィーク(10連休)の統一的な現場閉所(第1弾)に引き続き、北陸地方整備局管内(新潟県、富山県、石川県)の各発注機関が連携し、**秋の連休を活用した統一的な現場閉所(第2弾)**に取り組みます。

- 【対象工事】 工期に2019年9月から11月の土日を含めた「3連休」のうちいずれかが含まれる全工事
- 【取り組み内容】
- ・2019年の9月～11月は、土日を含めた「3連休」が4回。
  - ・この4回の3連休の土日・祝日のうち、少なくとも2日連続を「現場閉所」と設定し、工事現場の閉所を各発注機関から受注者へ提案。(2日～最大12日)

**本号の掲載内容**

全般	・令和元年度 北陸地方整備局におけるi-Constructionの取り組み方針
ICTの全面的な活用	・チャレンジ砂防プロジェクト「ICT砂防体験講習会」を開催 ・ICTの全面的活用にかかる技術基準類について
全体最適の導入	なし
施工時期の平準化	・【統合版】北陸地域における工事発注見通し

**チャレンジ砂防プロジェクト「ICT砂防体験講習会」を開催**

チャレンジ砂防プロジェクトは、現場条件などの理由からICT施工の普及が進んでいない砂防現場において、ICT技術の導入を加速させるための取り組みです。

この度、**チャレンジ砂防プロジェクト「ICT砂防体験講習会」**を立山砂防(立山砂防事務所)と白山砂防(金沢河川国道事務所)で開催しました。

8月6日の立山砂防には38名、8月22日の白山砂防には20名の工事関係者が参加し、UAVによる測量や、MCバックホウによる施工状況など、砂防現場におけるICT施工を見学しました。

「砂防ICT体験講習会」は、北陸地方整備局の砂防現場で引き続き開催する予定です。



8/6 立山砂防(立山砂防事務所)  
H31多枝原谷下流砂防堰堤工事 受注者:(株)干場建設

8/22 白山砂防  
(金沢河川国道事務所)  
H30赤岩砂防堰堤改築工事  
受注者:(株)風組

# 令和元年度 北陸地方整備局におけるi-Constructionの取り組み方針

令和元年度の北陸地方整備局におけるi-Constructionの取り組み方針を5月15日(水)の「令和元年度第1回北陸地方整備局 i-Construction推進本部会議」で決定しました。  
主な取り組み方針は以下のとおりです。

## I. ICTの全面的な活用

### (1) ICT活用工事

#### ▶ ICT土工工事の要件の緩和

砂防工事など施工現場の環境条件により、ICT建機による施工が困難な場合は、従来建機による施工を実施してもICT活用工事として認定。

#### ▶ ICT土工関連工種の新設

ICT地盤改良工、ICT付帯構造物設置工、ICT法面工、ICT作業土工(床堀)を新設。

#### ▶ ICT舗装工事の発注方式の拡大

発注方式における発注者指定型、施工者希望 I 型をこれまでの舗装面積(路盤工を含む)「10,000㎡以上」から「5,000㎡以上」として対象を拡大。

#### ▶ チャレンジ砂防プロジェクト(ICT砂防・ほくりく)の試行

ICT建機による施工が困難な砂防現場において、起工測量や出来形管理にUAVやレーザスキャナ等のICT技術を最大限活用する取り組みを試行。

### (2) ICT活用に関する講習会・研修の実施

▶ 参加者のレベルやニーズにあわせた 各種講習会、見学会等を企画、開催。

▶ ICT活用が進まない地域における講習会等の開催や、ICT導入の投資判断を行う経営者クラスを対象とした講習会、北陸のICTを牽引してきた技術者を対象とした意見交換会を新たに開催。

### (3) BIM/CIMの活用・普及に向けた取り組み

▶ BIM/CIM活用業務を詳細設計に加え、概略設計、予備設計にも拡大。(対象工種:橋梁、トンネル、河川構造物、道路設計)

▶ 官庁営繕事業の空調設備改修工事において施工BIMを試行。

## II. 全体最適の導入(コンクリート工の規格の標準化等)

▶ プレキャスト製品・現場打ち施工箇所での検証

▶ 予備設計等におけるプレキャストの比較検討

▶ 活用への普及推進(施工現場の視察、勉強会の開催。)

## III. 施工時期の平準化

▶ 北陸地方整備局内で「平準化連絡会議」を開催し、平準化における課題や目標、方策を確認・共有。

▶ 債務負担行為(ゼロ国含む)や繰越制度の活用、早期発注により平準化を推進。

▶ 四半期毎の「平準化の見通し」を、地整全体、事務所、ブロック単位でとりまとめ、事務所の発注計画等の参考として活用。(情報共有・見える化)

▶ 北陸地域における国、自治体等の工事の発注見通しの統合、公開。

## ICTの全面的活用にかかる技術基準類について

i-Constructionにおける「ICTの全面的活用」にかかる技術基準類を、以下のURL(北陸地方整備局i-Constructionホームページ)で公表しています。

[http://www.hrr.mlit.go.jp/gijyutu/i\\_Construction/hokuriku\\_ict.html](http://www.hrr.mlit.go.jp/gijyutu/i_Construction/hokuriku_ict.html)

## 【統合版】北陸地域における工事発注見通し

「北陸ブロック発注者協議会」に参画している北陸ブロック全64市町村、3県、国・法人15機関の発注見通しを統合し、以下のURLで公表しています。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/gijyutu/burokkukouhyou/hacchu/hacchu.html>

i-Construction推進本部 事務局

(問い合わせ先) 北陸地方整備局 企画部 技術管理課長 (3311)

企画部 施工企画課長 (3451)

〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1 新潟美咲合同庁舎1号館 Tel.025-280-8880(代)